

16/01/2020 Thu

語学学校も4日目。このあたりから、朝は語学学校に顔を出さないようにしています。NZに来たら相談するのはNZで生活している人、というのは繰り返し伝えている大原則ではありますが、やはり私の顔を見れば生徒たちはまず私に「せんせ〜」と声をかけてしまいがちです。わからないことや、できないことがあるのは当たり前なので、それを解決するために、生徒たちは自分から、今自分の周りにいる人たちに、自分の声を届けられるようにならなければいけません。今すぐ隣にいる成徳生や、日本人アドバイザーに気軽に頼れる生活は、もうすぐ終わってしまいますよね。何を選択し、その結果がどうであるのかは、すべて自分の責任、人のせいにしないということの意味の重さを感じてくださいね。

今日の午後は、その名も”Games Afternoon”です。Waitangi Parkという公園に行って、みんなで身体動かして遊ぼう！という、昨日から生徒たちが楽しみにしている企画です。オークランドもそうですが、いたるところにちょっとした公園があり、そのちょっとした公園が、サッカーコートを1面取れるぐらいの天然芝のグラウンドなのです。Lambton Harbour (ラムトン湾) に沿って15分ほど歩いて、月曜日に訪れたTe Papa博物館のすぐ横にあるWaitangi Parkに到着しました。公園といっても、ただ広い芝生が広がっているだけの潔さですが、生徒たちにはそれだけで十分です。

出発前、こころなしかワクワク感がいつもより強いです



いざ出発！



ずっと湾に沿って歩くと、いつの間にか着きます



本当にただ芝が植えてあるだけですが、とても綺麗に手入れをされてるようで気持ち良いです。そして広いです。体育祭を行なっている北運動場よりも確実に広いです。時々、一瞬太陽が顔を覗かせてくれるのですが、風が冷たくて寒いです。それでも生徒たちは、体を動かしたくてウズウズしています。



そうはいつでも、これも語学学校のアクティビティの一つですから、やはりそれなりに英語を使ったゲームの一つや二つは生徒たちにもやってもらいます。まず最初に、全体を2つのグループに分け（どうしても男子女子で別れちゃうのがちょっと悲しいんですが）、先頭から後ろの人に後ろ向きのままボールを渡していくレースをしました。upと言いながら頭の上を通して渡すのと、downと言いながら股の間を通して渡すのを交互にくり返し、最後の人まで渡したら、その人は走って先頭に立ち、同じことをまた繰り返します。つまり17人1列のリレーを17セットです。でもすごい楽しそうにキャーキャーはしゃぎながら、一生懸命やるんですね。「主に男子」チームが僅差で勝ちましたが、勝ち負けはどうでも良いぐらい身体あったまりましたね。



次のゲームは、まず全員を円形に並ばせました。Paul先生が中央に入ったので、これは定番のフルーツバスケットか？と思ったら。ボールを持ち出し、何やら説明が始まりました。生徒をランダムに選んでボールをパスします。その際、catch (キャッチ) と言いながら投げたら、ボールをヘディングで返す、head (ヘッド) と言いながら投げたら、手でキャッチする、というルールです。つまり、2種類の動作のうち、Paul先生が言ったこととは違う動作をするということです。ちょっと練習してみたのですが、これ、わかっていても難しいです。catchと言われた瞬間に、みんなもう手が出ちゃってます。間違えたらその場に座って、最後まで立っている人がチャンピオンだよ！と始めたら、もうみんなあっという間に座る座る。「キャッチ」で頭出してるのに、手でボールつかんじゃう生徒もいて、爆笑の渦です。単純だけど、集中力、判断力、反射神経いろいろ使えて面白いです。1回目のチャンピオンはまさかの女子生徒。

リベンジをかけて全員で2回目に挑戦しましたが、やはり最初の1ターンで、ほぼ半分は脱落、最後に残った二人がなかなか良い勝負をしましたが、結果はなんと女子生徒の2連覇でした。



さあ、最後に残るのはどっちだ？



そのあとは、しばらく自由時間です。

男子はサッカーとキャッチボールを楽しんでいました



バスケットゴールを見つけて



こちらは”どろけい”を始めましたが



隠れるところほとんどないので、ひたすら走るしかないです



ただひたすらに体を動かし続ける生徒もいれば、芝に寝転がって、ゆっくり時間を過ごす生徒もいます。自分の時間を自分で考えて過ごすって、日本の生活では実はあまりないんですよね、NZでは、日本では考えられないほどのヒマな時間があります。どう使うのも皆さんの自由ですから、自分のために自分の時間を過ごすことを楽しんでください。私は「何もしないで過ごす時間」を楽しむっていうのも、この国で生活する醍醐味の一つかなと感じています。

キャンベルに戻る途中で、ちょっと寄り道です。ここがウェリントンで一番美味しいと言われるアイスクリーム屋だけど、食べたい人いるか？と言われて食べないわけはありません。



こちらはジュース組、アイスはすでに結構食べていると言っていました。

今週の授業もあと1日、明日も元気に！